

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和 6年 11月 11日

山北町議会議長 石田 照子 殿

受付番号	第4号	質問議員	11番	児玉 洋一 
件名	将来の地域公共交通のあり方は			
要 旨				
令和6年4月、本町における地域公共交通の今後のあり方の指針となる「山北町地域公共交通計画」が策定された。 現在、本町ではJR御殿場線を始め、路線バスや町内循環バス、タクシーなどの公共交通に加え、スクールバスや共和福祉バス、社会福祉協議会に運営を委託している福祉バス「おでかけ号」など、公共交通以外の交通手段も複数運行している。また、高齢者等の移動手段として、福祉タクシー助成事業や町内循環バス回数券助成事業も展開されるなど、地域公共交通網を取り巻く環境は多岐にわたる一方で、アンケートを中心とした利用者ニーズからは、決して満足とは言えない状況が伺える。 今後の人口減少や高齢化、さらには免許返納者の増加に加え、燃料費高騰や人員不足等による民間事業者の事業縮小など、大きな社会環境の変化を迎える中、将来の地域公共交通のあり方が重要であると考え、以下の質問をする。 1. 計画策定までのプロセス及び進捗状況は。また、今後の取組みは。 2. 令和3～4年度に実施した清水・三保地区のデマンドタクシー試行運行の検証と今後の予定は。 3. 町内に複数ある地域交通や助成事業を見直し、利便性の高い地域公共交通網とする考えは。 4. 国の進める新たなモビリティサービスを導入する考えは。 5. 近隣市町と広域連携で実施する考えは。 以 上				